

常識を変えた木もちe-デツキ

いかに 通風と 水はけを とるか！



常識を超えた
施工ポイント集

こちらから



なっ！なるほど
これなら
床下も乾くぞ



ウッドデツキは
屋外につくるから
長持ちさせるためには
まゝず、施工が
大事だからね！

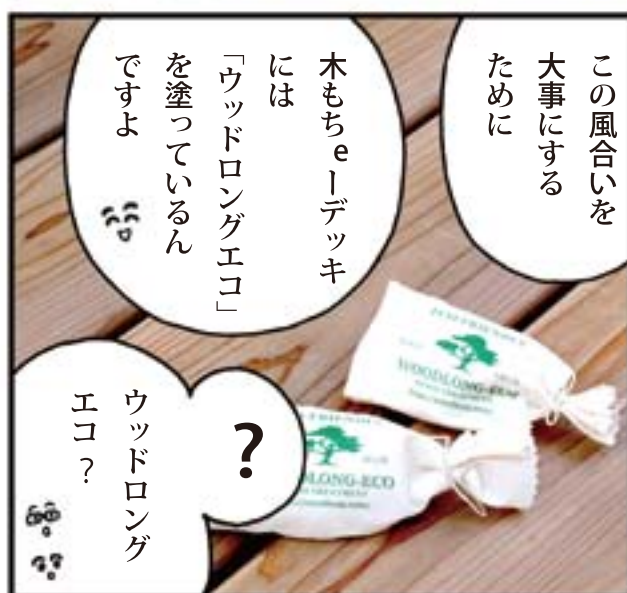
読まないとい
ワイが
増殖するぞえ

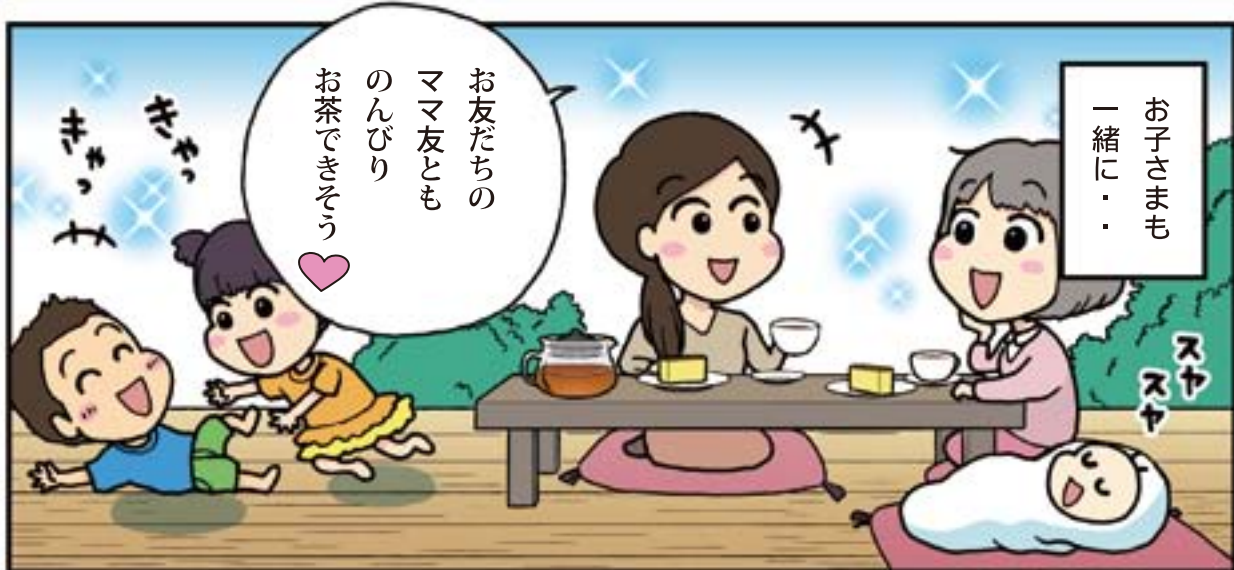


プロの工夫は
さすがに
すごい！











このお宅は
日曜大工で
旦那さんが
つくったんです



F邸 (サンドイッチ工法) 間口3,600mm×奥行2,200mm 約8㎡

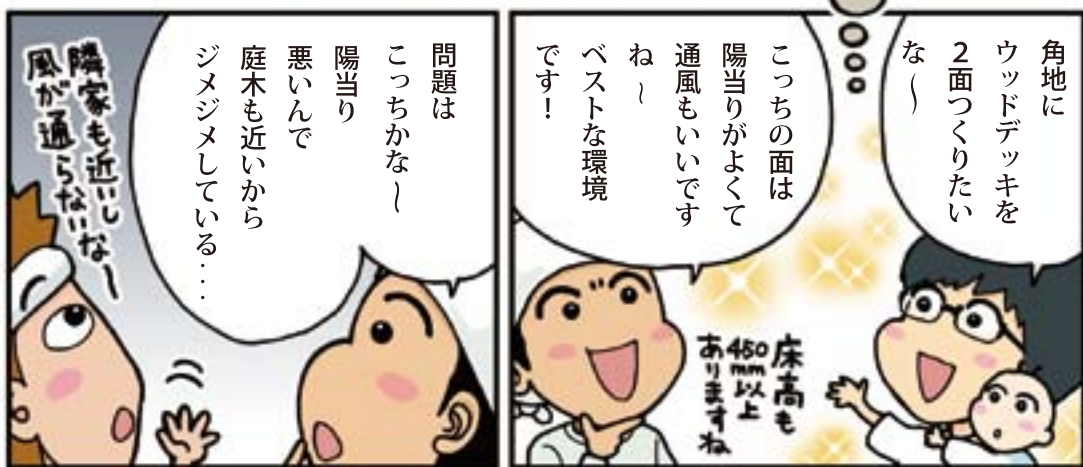
わあー
ウッドデッキ
カフェも
あるのね



道瀬食堂様 (サンドイッチ工法) 間口11,000mm×奥行4,000mm 44㎡



どこにデッキをつくるか、どの工法でつくるかをまず考えましょう。



4つのチェックポイント！

① 陽当たり

陽当たりが悪く、床板などの表面がいつまでも乾かないと腐食しやすくなります。

陽当たりの
方角によつて
床板の張り
方向を決め、
床下にまで
日差しを入
れるのも効
果的です。

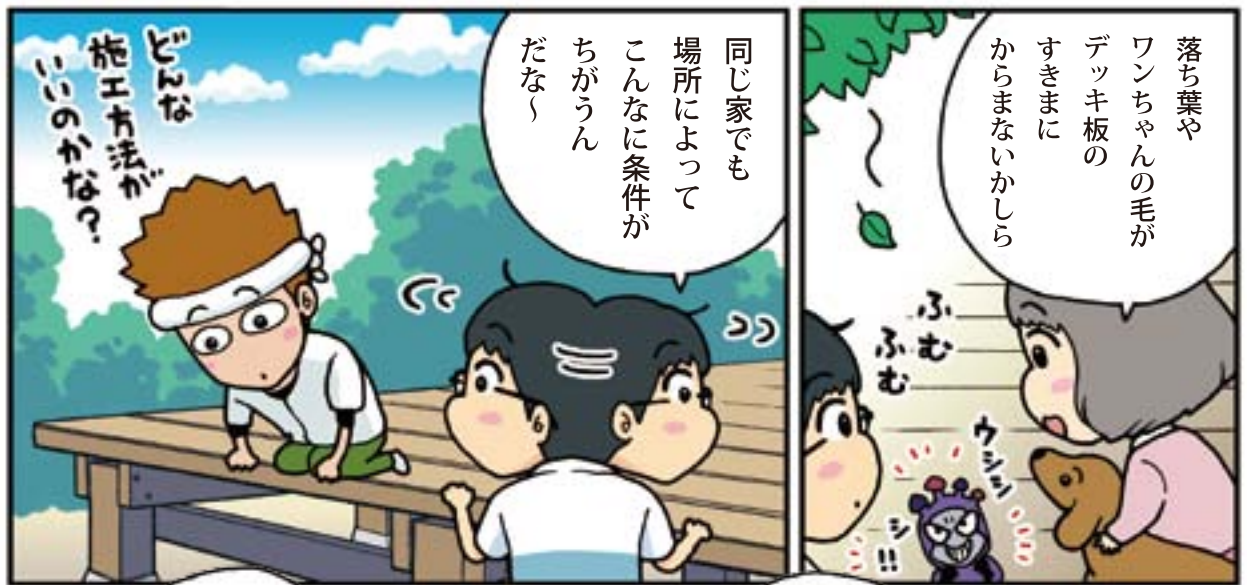


② 風通し

風通しは、デッキの耐久性を左右する最も重要なポイントです。床下に風が入って抜ける施工を心がけてください。

側面を幕板で覆い通風を損なう作りは絶対にしないでください。

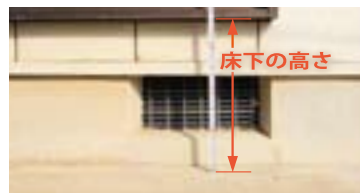




間口3,600mm×奥行2,200mm 約8㎡の床下

③ 床下の高さ

木もちえーデッキがお勧めするサンドイッチ工法では、地面から床上面までの高さ400ミリ以上が必要で、それ以下の場合は、束や鋼製束による大引パツキン工法を選択してください。



④ 湿度のあるなし

河川や水路などがすぐそばにある環境では、湿気の影響で腐りやすくなる場合があります。

床板のスノコ仕様や鋼製束、根太を栗材にするなどの工夫をしてください。



いかに腐りにくく仕上げるか、床下の工法が、腕のみせどころです。

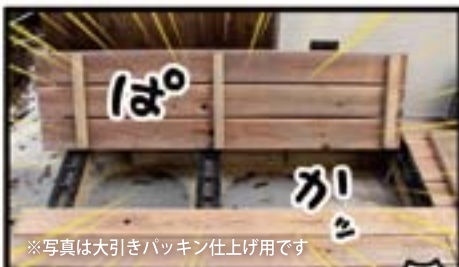
デッキ材の接面を極力小さくつくる
サンドイッチ工法



腕がなるなあ



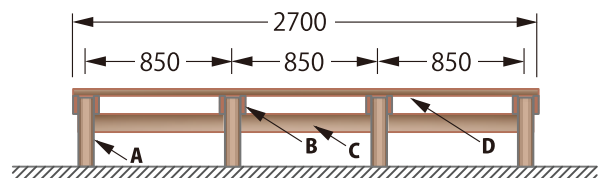
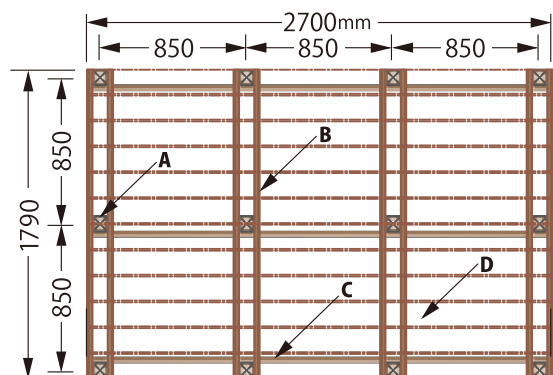
はずして通風、お掃除ラクラク タイプです スノコ仕様



横からのぞいた床下の仕組み



束と束のピッチは最大で900mm(デッキ板厚40mmの場合)



■サンドイッチ工法例

※地面からデッキ床上面まで450mmの場合

- A = 束** 400mm×12本
木拾い=3m×90×90mm (2本)
- B = 根太** 1790mm×8本
木拾い=4m×105×30mm (4本)
- C = 根太受け** 2700mm×3本
木拾い=3m×105×30mm (3本)
- D = 床板** 2700mm×12本
木拾い=3m×140×40mm (12本)



小さくつくるかが長持ちのポイントです。

いかに材と材の接面を

フェンスや階段も

サンドイッチ工法

縦格子を支える枠材やクロスフェンス材が、床板や笠木に接触しない施工法です。支柱と笠木の接面は、L字型金具ですき間をとり、支柱にはほぞ加工でなくビス留めして、雨水がしみこまないようにしてください。

笠木と支柱を接触させないで金具で浮かせ、通風と水はけを確保しています。



階段部も束を根太で挟んで階段板を支えるサンドイッチ工法がおすすめです。



地面からそのまま支柱を立ち上げることができます。





床下の高さが取れない時などは、この工法でつくります。

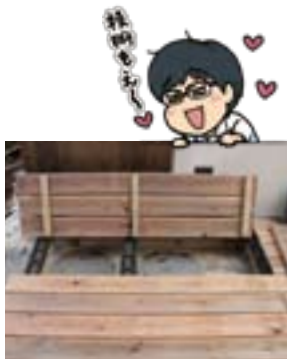
デッキ材の接面にパッキンをはさみます 大引きパッキン工法



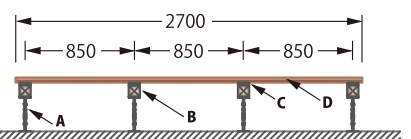
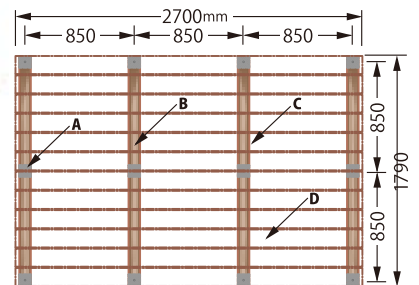
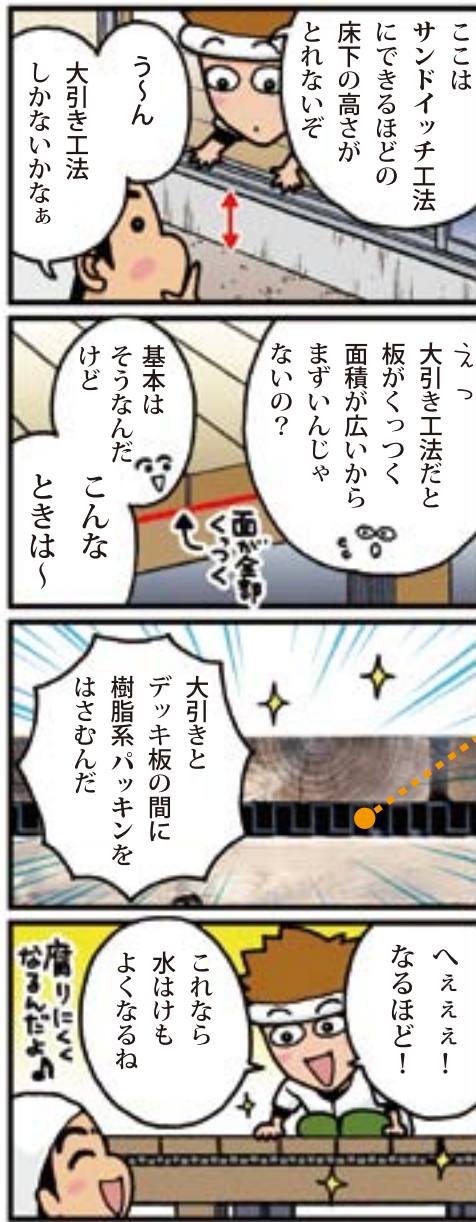
束と束のピッチは 900mm
(デッキ板厚 40mm の場合)



鋼製束も使えます



スノコ仕様で通風改良



■大引きパッキン工法例

※地面からデッキ床上面まで 400mm の場合

A = 鋼製束 250mm×12 本

B = 大引き 1790mm×4 本 木拾い = 4m×90×90mm (2 本)

C = 樹脂製パッキン 1790mm×4 本 910×105×20mm 厚 (8 ケ)

D = 床板 2700mm×12 本 木拾い = 3m×140×40mm (12 本)

マンションのベランダやバルコニーにも木もちeーデッキつくれます。

傾斜にもちよつとした空間にも対応できます
バルコニー対応アジャスター仕様



●バルコニーは高さがとれないため小川社では根太は栗材を推奨しています。

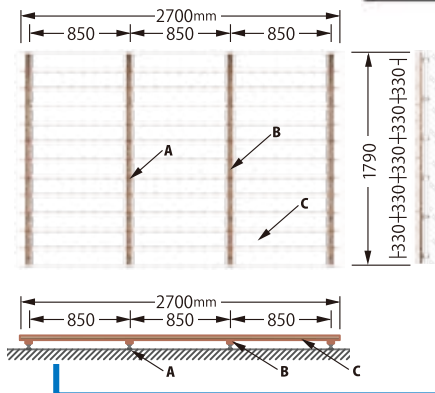
●根太と根太のピッチは最大で900mmにしてください。それ以上だと傷みます。

●時々、立てかけて干してください。



●アジャスターのピッチは最大で350mmにしてください。それ以上だと傷みます。

●ネジで水平をとります。



■バルコニー対応アジャスター仕様例

A = 調整アジャスター 50~100mm (28ヶ)

B = 根太 (堅木) 1790mm×4本 木拾い=1.8m×55×28mm (4本)

C = 床板 2700mm×12本 木拾い=3m×140×40mm (12本)

ダメダメ
いろいろなところで起こった **NG** の赤裸々な報告です



防腐剤をつかって
ないからね！
ちよっとした
注意が必要ですね

板と板が
くっつく
と
傷みやす
くなるの
よね

×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG



大引き工法は、床板と大引きの接地面が
大きく湿気が溜まりやすくなります。



床下を幕板で覆って腐った例です。

床下を幕板で覆う施工は絶対におや
めください。木口を隠す幕板もおす
めしませんが、付けられる場合は、
金物などを挟み、通風と水はけを確
保してください。

床板と大引きの間に樹脂製パッキン
を挟むことで、通気を確保し、湿気
を防ぐことができます。大引き工法に
は、必ず樹脂製パッキンを挟んでく
ださい。



NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG

ダメダメ
いろいろなところで起こった **NG** の赤裸々な報告です



ちよつとした
すき間が大事！
気をつけてね！

IG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG

NG



継ぎ手からの傷みが…

NG



目すかしをあけなかったら…

OK



OK



床板のすき間が十分でないと、雨水が抜けにくく、湿気や土埃が溜まりやすくなります。床板間10ミリ程度の目すかしをおすすめします。

床板のすき間と同じように、床板を縦に継ぐ場合も、すき間を5ミリ程度とってください。

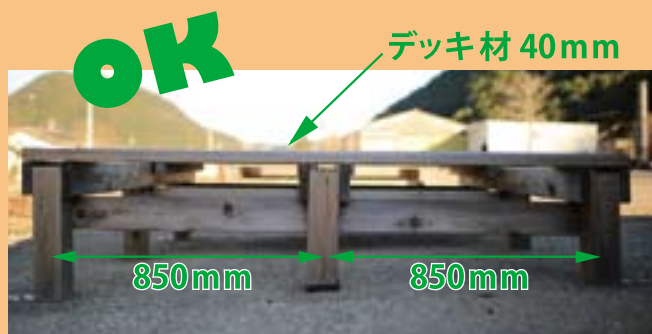
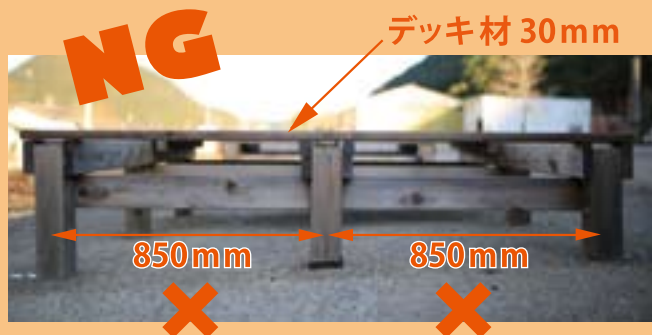




見えない
ところこそ
丈夫につくって
くださいね

×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG

NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG



根太のピッチは、床板の厚み40ミリで最大900ミリです。(床板30ミリでは最大600ミリ)これ以上拡げると、床板にたわみがでて耐久性に影響します。また床上に重いテーブルを置いたり、多人数の過重がかかるカフェ、シヨップなどでは、ピッチ幅を狭く調整してください。

■ピッチ(束と束の間)を
拡げすぎるとも傷みを早めます

デッキ材のたわみが寿命を縮める…

■オーバーハングは傷みを早めます

床板が根太や大引きから飛び出したオーバーハングは、床板に荷重がかかりすぎ、ビスが緩んだり床板を傷める原因になりますのでご注意ください。



木もちe-デッキだからこそ、

きもちイイを長持ちさせるお手入れを！



これだけは やってね！



月に一度のお掃除



ペットの毛など



落葉



植木鉢など
・植木鉢など直接置かない
・デッキに流れた土は洗い流す



デッキ完成日

年



月

日

お掃除・お手入れカレンダー

完成日から1ヶ月後、第1回目のお掃除日をお書き込みの上、お掃除してください。

第2回目です。※汚れ方がひどい場合は、その都度掃除してください。

		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	完成から1年後
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	完成から3年後
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	完成から5年後
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	完成から7年後

テーブル
イスなどは
ときどき
移動してね

無垢材です
きもちイイです
ほっとけば
傷みますよ



納品時・製品に
施工の詳細
(施工仕様書)を
付けています。
それをも
必ず読んで
ください

小川耕太郎∞百合子社の CSR 活動

近年、化学の発達により木の腐りを遅らせる木材ができました。それらは自然への循環ができず、木本来とは違ってしまいました。木もちe—デッキは、木の本来の性質をそのまま生かした天然保護塗料を塗布することで土壌や水質を汚染することなくデッキを腐りにくくしています。最終的に木もちe—デッキが不要となれば、腐朽菌がデッキを分解し、土へ還り、土壌の栄養分となり自然界に還元されます。それ故に、木もちe—デッキを長もちさせるには、施工業者様による施工と、施主様によるお手入れのご協力が必要となります。今回の冊子では、現場で頑張られている施工業者様にとって、短時間で施工ポイントをご理解いただけるように、わかりやすい表現を心がけました。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

小川 百合子



【製造・販売元】(有)小川耕太郎∞百合子社

TEL.0597-27-3361 FAX.0597-27-3390 e-mail mitsurou@zvtv.ne.jp

〒519-3921 三重県尾鷲市賀田町105

商品詳細につきましては、HP(スマートフォン対応)、カタログをご覧ください。 <http://www.mitsurouwax.com>